

<特性理解に関する研究>

- 1) 玉井収介・遠藤園子 (1975) 自閉的傾向の強い子の一事例, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第2巻, 1-11.
- 2) 玉井収介・昌子武・大柴文枝 (1977) 一卵性双生児の一方が自閉症である事例, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第4巻, 37-47.
- 3) 玉井収介・昌子武 (1978) 自閉児のコミュニケーションの様態 (I) - 盲ろう児との比較 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第5巻, 73-79.
- 4) 寺山千代子・佐賀啓男 (1978) 自閉的傾向児の言語能力に関する考察 - ひらがな文字の読みについて -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第5巻, 81-88.
- 5) 情緒障害教育研究部 (1978) 事例研究2 特徴ある3例の自閉児の記録, 一般研究報告書.
- 6) 玉井収介・岩川史子 (1979) 自閉児の内面的な言語に関する一試論, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第6巻, 35-42.
- 7) 寺山千代子 (1979) 自閉的傾向児の発達プロフィールとひらがな文字読みにみられる言語能力との関連性について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第6巻, 61-69.
- 8) 神田英治・山片正昭・大木昭一郎 (1980) 自閉的傾向児の走動作分析, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第7巻, 73-82.
- 9) 丸山千秋・山片正昭 (1980) 自閉的傾向をもつ児童の描線動作, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第7巻, 83-89.
- 10) 玉井収介・岩川史子 (1980) 自閉児の言語に関する一考察, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第7巻, 91-96.
- 11) 玉井収介 (1981) 自閉児の人間に対する認知の構造について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第8巻, 1-8.
- 12) 小山創 (1982) 自閉児の精神発達の特異性について - 強迫的欲求を中心に -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第9巻, 113-119.
- 13) 玉井収介 (1983) 自閉児の言語と文字について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第10巻, 11-17.
- 14) 寺山千代子 (1984) DTVPにみられる自閉症児の視覚パターン認識の諸特性, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第11巻, 81-87.
- 15) 東條吉邦・渡辺章・武居孝男・水谷徹 (1985) 自閉児の障害特性に関する生理心理学的研究(I), 国立特殊教育総合研究所紀要, 第12巻, 17-25.
- 16) 国立特殊教育総合研究所 (1985) 自閉児の障害特性と指導法に関する研究, 特別研究報告書.
- 17) 東條吉邦・渡辺章・武居孝男・水谷徹 (1986) 自閉児の障害特性に関する生理心理学的研究(II), 国立特殊教育総合研究所紀要, 第13巻, 61-68.

- 18) 渡辺章・東條吉邦・武居孝男・水谷徹・藤田紀盛 (1986) 自閉児の動作模倣に関する生理心理学的研究,国立特殊教育総合研究所紀要, 第13巻, 69-77.
- 19) 寺山千代子 (1986) 自閉症児の視覚パターン認識の諸特性, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第13巻, 79-86.
- 20) 小山創 (1987) 話しことばのない自閉児のコミュニケーション手段 -カタカナ文字使用までの縦断的検討-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第14巻, 117-124.
- 21) 東條吉邦・水谷徹 (1990) 自閉症児の記憶・思考に関する生理心理学的研究 (1) -曜日あて課題および計算課題による検討-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第17巻, 19-26.
- 22) 馬岡清人 (1990) 自閉症児の行動特徴の評価について -行動特徴評価法II試案-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第17巻, 35-43.
- 23) 東條吉邦・水谷徹 (1991) 自閉症児の記憶・思考に関する生理心理学的研究 (2) -優れた「暦計算」能力をもつ事例の曜日あての方略について-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第18巻, 1-9.
- 24) 東條吉邦・水谷徹 (1992) 自閉症児の記憶・思考に関する生理心理学的研究 (3) -Calendar Calculating の検討-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第19巻, 65-72.
- 25) 大柴文枝 (1995) 青年後期の自閉症の課題に関する一考察 -対象関係を中心として-, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第22巻, 57-66.
- 26) 寺山千代子 (1996) 自閉症児の描画能力の発達, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第23巻, 61-67.
- 27) 国立特殊教育総合研究所分室 (1997) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究, 一般研究報告書.
- 28) 寺山千代子・東條吉邦 (1998) 自閉症児・者の描画表現の特徴, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第25巻, 75-82.
- 29) 国立特殊教育総合研究所分室 (1998) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究第2集, 一般研究報告書.
- 30) 渥美義賢 (1998) 心身障害児教育に向けた高精度脳機能検査システムの開発, 科学研究費報告書.
- 31) 国立特殊教育総合研究所分室 (2000) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究第3集, 一般研究報告書.
- 32) 独立行政法人国立特殊教育総合研究所分室 (2001) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究第4巻, 一般研究報告書.
- 33) 東條吉邦 (2002) 高機能自閉症・アスペルガー症候群への特別支援教育に関する試論 -脳の機能としての接近-回避判断の特異性の視点から教育的支援の在り方を考える-, 独立行政法人国立特殊教育総合研究所紀要, 第29巻, 167-176.

- 34) 独立行政法人国立特殊教育総合研究所分室 (2002) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究第5巻, 一般研究報告書.
- 35) 独立行政法人国立特殊教育総合研究所分室 (2003) 自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究第6巻, 一般研究報告書.
- 36) 東條吉邦 (2003) 「自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究」報告書 自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント, 科学研究費報告書.

<教育環境に関する研究>

- 1) 精神薄弱教育研究部 (1987) 自閉児とその学級経営に関する調査報告書, 一般研究報告書.
- 2) 寺山千代子 (1990) 情緒障害学級の成立過程の比較研究II－学級の設立から今日的課題まで－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第17巻, 53-63.
- 3) 久米澄恵 (1996) 自閉症児の就労への支援体制, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 67-70.
- 4) 大柴文枝 (1996) 自閉症成年の成長過程, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 99-107.
- 5) 緒方茂樹・大塚郁朗・寺崎裕志・渥美義賢 (1999) 情緒障害特殊学級における教育指導の実態－教職・特殊教育・情緒障害教育経験年数からの検討－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第26巻, 51-63.
- 6) 大柴文枝 (1999) 相談事例にみられる「連携」の諸側面, 特別研究報告書「自閉症児の早期療育・教育における連携システムに関する研究」, 53-63.
- 7) 巖隆志・緒方茂樹 (1999) 子どもを中心としながら地域と連携をとって進める指導の在り方, 特別研究報告書「自閉症児の早期療育・教育における連携システムに関する研究」, 112-126.

<指導内容に関する研究>

- 1) 情緒障害教育研究部 (1977) 事例研究1 ある自閉的な子の治療の記録－A君の心の成長の軌跡－, 一般研究報告書.
- 2) 情緒障害教育研究部 (1979) 事例研究4 ある自閉的な子の治療の記録－A君の心の成長の軌跡(続)－, 一般研究報告書.
- 3) 情緒障害教育研究部 (1979) 事例研究3－自閉児で就職に成功した一例を中心として－, 一般研究報告書.
- 4) 国立特殊教育総合研究所 (1981) 自閉的傾向児と普通児との交流教育の過程に関する研究, 特別研究報告書.
- 5) 情緒障害教育研究部 (1981) 事例研究5 自閉児の学校における指導, 一般研究報告書.

- 6) 山片正昭 (1982) 自閉児の量の学習における表象機能について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第9巻, 105-112.
- 7) 大柴文枝・東條吉邦・武居孝男・平井保 (1987) 自閉的な子どもの早期教育に関する基礎研究 - 早期徴候の視点からの事例による考察 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第14巻, 125-134.
- 8) 馬岡清人 (1991) 学校教育をほとんど受けられないまま比較的早期から福祉施設で生活しているB事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 19-26.
- 9) 大内満 (1991) 対人関係が円滑にいかないため就学猶予になった児童が, 養護学校高等部卒業後地域作業所に通書しているC事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 23-26.
- 10) 平井保 (1991) 小、中、高と同一の精神薄弱養護学校で教育を受け、卒業後、精神薄弱者の更生援護施設で指導を受けているH事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 31-34.
- 11) 寺山千代子 (1991) 通常の小・中学校から、養護学校高等部に進学し、現在、進路を検討しているJ事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 35-38.
- 12) 大柴文枝 (1991) 10歳まで音声言語はなかったが、現在養護学校高等部に在籍し、家庭生活で意欲的な自閉症周辺群のK事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 39-42.
- 13) 武居孝男 (1991) 寄宿制養護学校に在学し作業学習を中心とした指導を受けている自閉的傾向のあるL事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 43-46.
- 14) 東條吉邦 (1991) 自閉症児の社会的自立へ向けての学校教育と家庭生活, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 47-50.
- 15) 小山創 (1991) 激しいこだわりを持つ幼児期を経て、小・中学校の普通学級で学習し、高校を受験して入学したO事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 51-54.
- 16) 太田俊己 (1991) 幼児期に多動などが問題となった、養護学校中学部に在籍するQ事例, 特別研究報告書「自閉児の追跡調査による教育の内容・方法に関する研究」, 55-58.
- 17) 国立特殊教育総合研究所分室 (1996) 自閉症児と通常の学級の児童生徒との交流, 一般研究報告書.
- 18) 高橋勝利 (1996) 自閉症児の学校から社会への移行に関する指導, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 49-60.
- 19) 石田祐二 (1996) 養護学校における作業学習・現場実習・進路とは, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 71-74.

- 20) 高橋次郎・荷方久雄 (1996) 不登校を乗り越えた自閉症児の3つの事例に学ぶこと, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 75-80.
- 21) 肥後祥治・小林重雄 (2000) 知的障害児・者の自傷行動の生起パターンに関する研究 - 条件統制下における観察をととして -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第27巻, 47-54.

<指導方法に関する研究>

- 1) 玉井収介・昌子武・平井保・成田房子・西郷園子・行重和子 (1976) 自閉的傾向を有する子どもの小集団によるトリートメント, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第3巻, 1-9.
- 2) 東條吉邦 (1981) 自閉児に対する視覚言語訓練について - 漢字を用いた治療教育の試み -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第8巻, 85-92.
- 3) 東條吉邦 (1983) 自閉児に対する視覚言語訓練について (2) - 仮名文字の導入, 漢字との比較 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第10巻, 99-105.
- 4) 小塩允護 (1985) 最重度精神遅滞児の動作模倣の形成, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第12巻, 47-55.
- 5) 石井詩都夫 (1986) 自閉を伴う重度精神遅滞児の学習態度の形成に関する研究, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第13巻, 9-17.
- 6) 久田信行 (1986) 行動障害を伴う重複障害幼児の動作学習過程の分析 - 腕あげ動作の角運動パターンの検討 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第13巻, 97-106.
- 7) 宮崎 直男他 (1987) 自閉症状をもつ精神遅滞児の学級内行動の解析とその指導, 科学研究費報告書.
- 8) 近藤明子 (1988) 自閉を伴う精神薄弱児の言語理解に関する研究 - 集団場面における言語指示に対する反応特性 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第15巻, 113-121.
- 9) 太田俊己・加藤元繁 (1988) 般化模倣とルール支配行動への一考察 - 障害児臨床への寄与と今後の論点 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第15巻, 85-94.
- 10) 小塩允護 (1988) マンド-モデル法による身振りサインの指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 11-18.
- 11) 太田俊己 (1988) 「トランポリン・お願いします」の2語サインの指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 19-25.
- 12) 近藤明子 (1988) 指示理解力を高める指導-プロンプト方法の検討, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 25-30.
- 13) 石井詩都夫 (1988) 身のまわりの物を使った指示理解の指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 30-36.
- 14) 緒方登士雄 (1988) 調理技術の向上と活動の見通しを促す指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 39-45.

- 15) 篠原吉徳 (1988) 調理学習において学習の流れを明確にして, 活動の理解を容易にした指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 45-51.
- 16) 太田俊己 (1988) 自発的に次の活動に移ることを促す指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 51-56.
- 17) 篠原吉徳 (1988) 認知能力や指示を受容する能力を高め, 活動を見通すことを促す指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 56-63.
- 18) 小塩允護 (1988) ボーリングゲームの指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 65-72.
- 19) 近藤明子 (1988) 学習活動への参加を促す教材の工夫, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 72-76.
- 20) 緒方登士雄 (1988) 具体的操作課題の導入による授業への参加促進の試み, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 77-83.
- 21) 緒方登士雄・太田俊己 (1988) 少人数学級の朝の会と車遊び, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 83-90.
- 22) 篠原吉徳 (1988) 食行動の形成を促し, 問題行動の低減を図る指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 93-98.
- 23) 近藤明子 (1988) こだわりと自傷の低減を図る指導, 特別研究報告書「自閉を伴う精神薄弱児の指導内容・方法に関する研究」, 98-103.
- 24) 寺山千代子 (1988) 自閉症児の保存概念の形成に関する一考察, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第15巻, 103-111.
- 25) 石井詩都夫 (1989) 自閉を伴う中度精神遅滞幼児のコミュニケーション行動の習得に関する研究, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第16巻, 47-55.
- 26) 緒方登士雄・太田俊己 (1989) 児童と教師の行動変容過程の分析 (1) - 教師の非音声行動のカテゴリー化の試み -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第16巻, 57-65.
- 27) 宮崎直男他 (1990) 自閉症状をもつ精神遅滞児の集団内行動に及ぼす言語水準要因の解析とその指導, 科学研究費報告書.
- 28) 太田俊己 (1991) 重度精神遅滞児の模倣の促進 - functional response の効果と実践への発展 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第18巻, 53-66.
- 29) 寺山千代子 (1992) 一自閉症児の数量の学習における動機づけの機能, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第19巻, 11-19.
- 30) 緒方登士雄 (1992) 児童と教師の行動変容過程の分析 (2) - 教師の非音声行動のわかりやすさと児童の行動 -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第19巻, 117-127.
- 31) 落合俊郎 (1993) 描画・書字における表出援助法の工夫について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第20巻, 9-15.

- 32) 小塩允護・石川茅具実・今出正之（1994）重度障害を伴う子どもの選択行動,国立特殊教育総合研究所紀要, 第21巻, 59-66.
- 33) 宮崎直男他（1994）学習障害児・軽度精神薄弱児・自閉症児の学習過程および学校適応に関する比較研究, 科学研究費報告書.
- 34) 情緒障害教育研究部（1995）平成6年度情緒障害児の個に応じた指導援助に関する研究－ティーム・ティーチングに関する報告書－, 一般研究報告書.
- 35) 柘植雅義（1996）自閉症状のある精神遅滞児の刺激等価性の枠組みによる数概念の形成と維持一般化, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第23巻, 1-12.
- 36) 伊藤由美・横尾俊（1998）前言語期の段階にある自閉症児へのプレイ・セラピー－間主観的かかわりを通してのコミュニケーションの広がりをもとめて－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第25巻, 99-106.
- 37) 東條吉邦・寺山千代子・紺野道子（1999）通級指導教室の動向とその分析（2）－情緒障害通級指導教室における個別指導の実態を中心に－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第26巻, 129-136.
- 38) 寺山千代子・東條吉邦・長谷川安佐子（1999）情緒障害学級における個別の指導について, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第26巻, 137-144.
- 39) 肥後祥治・稲留睦子（1999）行動療法を用いた発達障害児の二語文の要求言語形成に関する事例研究, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第26巻, 65-71.
- 40) 情緒障害教育研究部（2000）子どものコミュニケーション発達支援に向けた音声認識システムの適用と可能性, 一般研究報告書.
- 41) 小島恵（2001）集団随伴性による発達障害児集団内の相互交渉促進に関する研究－知的障害児と自閉症児の比較から－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第28巻, 1-9.
- 42) 廣瀬由美子・伊藤芳子・井伊智子（2003）自閉症児を指導する通常の学級担任へのコンサルテーションの実践－オーダーメイド・マニュアルを使用した事例から－, 独立行政法人国立特殊教育総合研究所紀要, 第30巻, 25-35.
- 43) 廣瀬由美子（2003）通常学級における自閉症児の支援マニュアルの開発と運用に関する実証的研究」成果報告書 通常学級の先生へ－自閉症児の支援マニュアル（試案）－, 科学研究費報告書.

<その他>

- 1) 情緒障害教育研究部（1982）事例研究6 自閉児の兄弟, 一般研究報告書.
- 2) 情緒障害教育研究部（1985）情緒障害学級の発足と展開, 一般研究報告書.
- 3) 東條吉邦（1987）自閉症に関する研究のアプローチとその推移－データベースを利用した分析を中心に－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第14巻, 109-116.
- 4) 寺山千代子（1989）情緒障害学級の成立過程の比較研究－東京・大阪を中心にして－, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第16巻, 27-35.

- 5) 情緒障害教育研究部 (1990) 小学校・中学校情緒障害特殊学級実態調査報告書, 一般研究報告書.
- 6) 東條吉邦 (1996) 自閉症に関する研究のアプローチとその推移 - 最近10年間 (1986-1995) の動向を中心に -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第23巻, 95-102.
- 7) 葉栗鉦一 (1996) 就職した自閉症児A男の自立を願った保護者・企業・担任とのかかわり, 特別研究報告書「年長自閉症児の進路指導に関する研究」, 61-65.
- 8) 寺山千代子・東條吉邦・篠田晴男 (1997) 通級指導教室の動向とその分析 - 情緒障害教育を中心に -, 国立特殊教育総合研究所紀要, 第24巻, 149-155.
- 9) 情緒障害教育研究部 (1998) 全国小・中学校情緒障害特殊学級及び通級指導教室についての実態調査報告書, 一般研究報告書.
- 10) 廣瀬由美子・東條吉邦・寺山千代子 (2001) 通常の学級における自閉症児の教育の現状 - 小学校通常の学級担任のニーズを中心に -, 独立行政法人国立特殊教育総合研究所紀要, 第28巻, 77-85.
- 11) 廣瀬由美子・東條吉邦 (2002) 通常の学級における自閉症児の教育の現状 (2) - 個々の自閉症児の特徴と担任のニーズ -, 独立行政法人国立特殊教育総合研究所紀要, 第29巻, 129-137.